

ペット市場のトカゲ、カエル、イモリ、カブトムシも提案されています。

3月13日～25日、第15回ワシントン条約締約国会議がカタールのドーハで開催されています。トラフィック イーストアジア ジャパンは、締約国会議に向けて数回のシリーズでワシントン条約関連情報を各マスメディア関係者の方々に配信しています。会議に関する正確な情報の入手や取材にお役立てください。また、ご不明な点や詳細に関してはトラフィックまでお問い合わせください。

ペット向けの動物に関する提案

日本ではペット市場で見られる動物たちのアップリスト提案が出されています。今回提案されているこうした動物の中には日本の需要について指摘されているものも多く、議論の行く末は要注目です。

▼以下のような種が提案されています。

ペット大好き日本

日本は生きた哺乳類・鳥類・爬虫類・両生類を2009年に年間約73万頭輸入。*

日本の生きた動物の輸入(頭数)

| | |
|-----|-----------|
| 哺乳類 | 264,379 頭 |
| 爬虫類 | 422,711 頭 |
| 鳥類 | 32,375 羽 |
| 両生類 | 6,720 頭 |
| 昆虫類 | 約 660 万匹 |

資料：財務省、貿易統計(2009)

※家畜・家禽を除く。
※一件 20 万円以下の輸入は統計に含まれていない。
※ペット以外の用途のものも含まれている。

清い水を象徴する淡水系の指標種

(提案国：イラン)

提案
14

●カイザーツエイモリ *Neuregerg kaisereri* を附属書 I に掲載

トラフィックは 提案に賛成

水質のよいところにしか生息しない

。節足動物を補食するこのイモリは淡水系の環境の質を示す指標種と言われている。

イランのザグロス山脈の固有種

ペット向けに捕獲されたのが主な減少の原因

10年の間に80%減少し、成体の個体数は1,000頭未満と推定(ただし個体数情報は少 IUCN レッドリスト(2008) : 近絶滅種(CR))。イランでは法律で保護されている。



赤い目の昆虫ハンター (提案国：ホンジュラス、メキシコ)

●アカメアマガエル属全種 *Agalychnis* spp. を附属書 II に掲載

提案
13

トラフィックは

Morelet's Treefrog *A. moreletii* の提案には賛成、それ以外の種については反対

2種が保全、3種が外見上の類似を理由に掲載が提案されている。

中南米に生息。

多く取引される:アカメアマガエル

A. callidryas

カエルツボカビが大きな問題。

ペット市場でも人気があると報告されている。



アカメアマガエル

IUCN レッドリスト(2008): *A. moreletii* は近絶滅種(CR)、*A. annae* は絶滅危惧種(EN)

果実を食べ、種子を運搬する森再生のヘルパー

提案
11

提案
12

●*Ctenosaura*属4種(トゲオイグアナの仲間)

を附属書 III に(ホンジュラス3種、グアテマラ1種)

ホンジュラス、グアテマラに生息。(提案国: No.11 ホンジュラス、No.12 グアテマラ)

食用やペット用に利用される。日本のペット市場でもみられる。飼育繁殖が報告される種もある。

IUCN レッドリスト(2004): 4種とも近絶滅種(CR)。

トラフィックは

ノドダレトゲオイグアナ *C. palearis* の提案には賛成、他3種は反対。(附属書 III への掲載可能性を指摘)

二本角の大きなカブトムシ

提案
20

●サタンオオカブト *Dynastes satanas* を附属書 II に掲載

トラフィックは 提案に反対

(提案国: ボリビア多民族国)

ボリビアの湿潤常緑樹林に生息。

同じ採取努力でも捕獲できる個体数が減少したといわれる。生息地の縮小も。

日本向けの違法取引が問題として指摘されている。

種について判明している情報は多くない。



砂漠に巣穴を作る生態系の建築技師

提案
10

●ニシキトゲオアガマ *Uromastyx ornata* を

附属書 II から I へ移行

(提案国: イスラエル)

トラフィックは 提案に反対

中東・アフリカ北部に生息する。トゲオアガマ属 *Uromastyx* spp. 全種がすでに附属書 II に掲載。

食用・薬用・ペットとして取引される。

日本のペット市場でもみられる。

捕獲や生息地の減少が脅威とされる

が、種として分類されたのが最近で

あるため、生物学的、または取引の

情報は十分

でない。



トラフィックジャパンのここに注目!

ペット市場の動物たち故郷では生息が脅かされていることも

COP15 特集ページ <http://www.trafficj.org/cop15/>

TRAFFIC
the wildlife trade monitoring network

トラフィック イーストアジア ジャパン
(略称: トラフィックジャパン)

TEL: 03-3769-1716 E-mail: traffic@trafficj.org